



「しおかぜ」だより

令和7年3月号



おみ足を思う

桜が待ち遠しい季節となりました。

当園は国の基準通り、利用者様に週2回入浴ケアを実施しております。毎回、お風呂の時間を皆様楽しみにされています。浴槽は個人の生活機能に応じ寝たままでの入浴と、椅子に座り自動で湯を張る浴槽に分け対応させて頂いております。入浴の前後は、体調や皮膚を介護・看護の職員で確認いたします。適宜、お腹や、背中、お尻などに保湿剤を塗布して入浴を終えます。入浴後は係の職員が頭髪をドライヤーで乾かし、足の指も乾かし靴下を履いて頂き入浴は完了します。

その際に利用者様の足の指を拝見すると、その方が歩んできた人生に出会います。利用者様の足の指は長年の労苦に耐え、物言わず懸命にお体を支えてきました。それぞれの足の指はいぶし銀のように変化し、しわが刻まれていきます。

職員は今日も、明日もこの先も、利用者様が歩まれてきた人生とおみ足に心を寄せ介護に努めてまいります。

事業次長 坂本 増美



チョコレート作り

